

ロータリーセンタープログラムについてお話を申し上げます。

ロータリーセンタープログラムは、2002年からのロータリー財団の新しいプログラムでございますが、国際親善奨学生、もう既に60年の歴史を刻んでおります。4万2千人以上、日本8千人の若者が外国において、勉強する機会をロータリー財団は提供してまいりました。この国際親善奨学生プログラムの長い歴史と経験の中から、焦点を世界平和の担い手という点に絞って開発され、あみ出されたプログラムが、ロータリーセンタープログラムでございます。

紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリーセンター、ロータリーの平和理念と合致した教育方針を立て、そして教育実績を有する7つの世界の大学、いや8大学が7つのロータリーセンターとして選ばれまして、9月から2年間、マスターコースで勉強する機会をロータリーは提供しているわけでございます。

「平和及び紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」プログラムは、ロータリー平和センターといわれるロータリーと提携した大学で、修士号または修了証プログラムに参加するための奨学金で、仕事や奉仕活動や奉仕活動を通じて国内外で平和及び紛争解決を推進するリーダーとなる人材を育成することを目標としています。

2002年プログラム開始以来、600人以上のフェローがこのプログラムに参加し、学友の多くが、平和と紛争の解決の分野で活躍しています。この秋から第11期生として、日本から3名の新しいフェローが、このプログラムに参加します。

第2710地区(広島)推薦の新屋由美子さんはイギリスのブラッドフォード大学、第2550地区(栃木)推薦の大阿久裕子さんと第2790地区推薦の宇野かおりさんは、日本の国

際基督教大学で学びます。

12期生(2013-14年度留学開始)の募集はこの7月1日で締め切られました。初年の日本からの推薦は11名でしたが、今回の推薦は3名のみでした。すべての地区はDDFの寄贈の有無と関わりなく、何人でも候補者を推薦できます。候補者は必ずしも地区内に居住している必要はなく、電話やインターネットを利用した面接も可能です。2014年の申請書は11-1月頃にWEBに掲載される予定です。多くの地区からのご推薦をお待ちしております。

東京三鷹にある国際基督教大学(ICU)は、世界に6つあるロータリー平和センターの一つです。毎年およそ10名のフェローが2ヶ月間、平和と紛争解決の分野について学んでいます。ICUの所在地である2750地区がホスト地区として、周辺の2580地区、2590地区、2770地区、2780地区、2790地区がホスト・エリアとして協力してフェローの受入を行っています。

2012年9月からは第11期生として日本から推薦された2名を含む13名のフェローが新たに研究を開始します。海外からのフェローは学期開始に先立ち1-2ヶ月の日本語研修に参加します。第2750地区のパスト・ガバナー久邇(クニ)邦昭様がホスト・エリア・コーディネーター(HAC)として、フェローとロータリアン、ICUとの連絡や調整などにあたります。

News! 6月にICUを卒業したマーク・フラニガンさんが第28回佐藤栄作賞の最優秀賞に選ばれました。

これを支えるために6地区、東京近辺の6地区がホストエリア地区として、お手伝いをしていたいただけるわけでございます。当2790地区もロータリー財団このプログラムに

パイオニア地区という事でご貢献を頂いております。地理的に近いという事も合わせて、ホストエリア地区の一つに、ロータリー財団の方では指定されました。

このロータリー平和フェロシップは、これから21世紀のロータリー財団のプログラムの中で、大変大きな意味を持つプログラムに発展していくことが予想されます。なかなか選考が厳しいので、希望者が少ないというのが残念ではございますが、外務省のホームペーজその他、いろいろな方法をとって、このロータリーセンターの希望者を増やすための活動をしてまいりました。

21世紀の世界は、多くの異なる民族、異なる文化、異なる宗教に属する人々が、他の存在を認めあい、理解しあい、親善を結ぶ事によって共生する世界であると思います。この考えが崩れたところで、紛争や戦争が発生しております。

ロータリーの組織の特徴は、各地区やクラブの多様性を前提としております。

現在200カ国に3万4千余のクラブが存在しておりますが、世界123万人のロータリアンは、このロータリーの組織の多様性ということを理解していると思われれます。そう考えてまいりますと、21世紀はロータリーの国際理解と親善が全人類共通の理念となる、理念としなければならないと、私は思います。

どうか皆さん、明るい21世紀、平和の21世紀を築くために、お互いにロータリーで力を出し合い、奉仕活動に励みたいと思います。ご静聴を頂きまして大変ありがとうございます。